

# 第23回姉妹都市ショウニー市訪問

～市内の中学生ら14名・引率3名が渡米～

10月17日～24日までの8日間、市内の中学生と引率者の17名が姉妹都市「アメリカ・オクラホマ州ショウニー市」を訪問しました。この国際交流事業は「国際化時代にふさわしい創造性豊かな国際的視野をもった人材の育成」を目的に相互訪問交流事業を行っているものです。

23回目となった今回の様子を紹介します。



Day 2

## Day 2

アメリカでの初日、ダラスを観光し、いよいよショウニー市へ。夕方、ショウニー市役所に到着しホストとご対面しました。

歓迎会を催して頂き、ホームステイ先へ。まだまだ緊張感みでした。

## Day 1

午前8時、スマイルを出発し秋田空港～羽田～成田と移動し、午後6時20分アメリカン航空でダラスへ。

入国審査も無事通過。全員元気に到着できました。良かった…



Day 4

## Day 4・5

午前10時に集合し、メイビー・ゲラー美術館を見学し、バーベキューや乗馬を楽しみました。5日目はホストとフリータイム。

本場のバーベキューは最高でした。現地にも慣れ、思い思いに交流♪

## Day 3

午前8時に市役所へ集合。ダウンタウン散策後、サンタ・フェ・テボを見学。その後、警察署や消防署を見学しました。

消防署のナイスガイの手ほどきを受け、放水などを体験しました。

## Day 7

アメリカ最終日。ホームステイ先に別れを告げ、オクラホマ空港からダラスへ移動。13時間30分のフライトで日本へ出発。

ホストへ再会を誓う姿や感謝を伝える姿に大きな成長を感じました。

## Day 6

午前8時に集合しTDKを見学。その後、ショウニー中学校を訪問しました。夜は送別会で交流を深めました。

あっという間の6日目。なごり惜しい送別会となりましたね。



Day 5

## Day 8

夕方、成田到着。秋田までのフライトを経て家族の待つスマイルへ。家族の迎えを受け、全日程を無事に終え帰宅しました。

本当によく生徒たちは頑張りました。関係者の皆さんに感謝です。



Day 6

第23回姉妹都市ショウニー市訪問団 団長 土倉 新也

広大な土地に雲1つない青空とレンガ作りの家と緑の芝生。異国の地でこの見事なコントラストの風景と思い出に残る素敵な出会いや体験をさせていただき、第23回ショウニー市訪問団を代表として、関係各位に心より感謝申し上げます。



①浅利真美子（秋大附中2年）  
素晴らしい経験ができたのもホストのサポートのおかげです。陽気なお母さん、知的なお姉さん、巧みに私たちの意図を読みとりサポートしてくれたコーリン。絶対また会おうね！

②宮崎 真華（仁中2年）  
ホームステイ最後の夜、ホストと時間を惜しむように文化の違いなどを話して過ごしました。とても楽しい1週間でした。

③齊藤 智子（象中2年）  
数日すると文化の違いや生活のルールにも慣れホームステイが楽しくなりました。この体験を生かして自分の夢に近づけるよう頑張ります。

④須藤ほのか（象中2年）  
アメリカの規模の大きさを

実感しました。そして、訪問中の出会いや触れ合いの中で沢山の「優しさ」を見つけることができました。

⑤大杉かれん（仁中2年）  
アメリカは日本とは全く違うんだと改めて実感。貴重な体験と人々との交流、本当に嬉しい一生の思い出です。

⑥佐々木結衣（金中2年）  
ホストが手作りのプレゼントを喜んでくれて嬉しかったです。コミュニケーションの難しさより、気持ちを伝えることの楽しさ、面白さを学ぶことができました。

⑦宮本 瞳（仁中2年）  
送別会のアトラクションは大成功でした。皆さんに感謝の気持ちを伝えたい思いでいっぱいでした。この出会いを大切にしていきたいです。

⑧佐藤 理子（仁中2年）  
ホストに日本の文化を紹介し、ホストから好きな料理を教えてもらうなど、積極的に英語を話すことができました。更にアメリカに興味がわきました。

⑨横山 美里（仁中2年）  
この8日間は一生忘れられない宝物となりました。絶対にまたショウニー市へ行つてホストと再会するという新しい目標ができました。

⑩鈴木 萌子（仁中2年）  
貴重な体験だけでなく、今まで我が家で受け入れをしてくださった方々の再会も果たせて嬉しかったです。これが姉妹都市なんだなと思いました。

⑪藤谷 小春（仁中2年）  
1週間という短い間でしたが、私たちが家族同様に大切に

にしてくれました。海のかなたに「私のもう一つの家族」ができました。

⑫齋藤 海利（仁中2年）  
ホストとの貴重な思い出に本当に感謝しています。今度は、ホストとして受け入れ、心に残る交流をしてあげたいと思います。

⑬佐藤 泰天（仁中2年）  
アメリカの素晴らしい文化を学び、日本の素晴らしさを伝えるという自分の目標が達成できました。交流を深めた分、別れはつらかったです。

⑭中川 和希（仁中2年）  
自分の力を誰かの為に使ったり、人と協力したり、しっかりとコミュニケーションをとったりこれからの自分に生かされる多くのことを経験できました。

出発式での激励の言葉とお守りを胸に渡米。出発前日まで体調を崩していた生徒たちでしたが、全員元気にアメリカでの日程を消化し快晴の中、毎日充実した日々を過ごすことができました。1人1人が目標をもち、それを達成するために様々な準備をし、ホストと積極的に会話する生徒達の姿を見て、その能力と順応性の高さを感じました。そして、心が熱く感じた送別会。ホストや関係者らが多数見守る中、素晴らしいスピーチやダンス等で最高の笑顔を見られたことは忘れられません。生徒たちは目標を達成し、1回りも2回りも成長しました。思い出だけでなく、将来にかほ市を背負う生徒たちにとって「やればできる」という大きな自信と「生き方をグローバルに考える」機会が与えられ、この事業がかほ市の大きな財産に繋がることが強く願っています。

